



むらたまち 議会だより

Vol.99
2016.5.1.

The Murata Town Council Newsletter



村田幼稚園入園式(4月12日)

平成28年度当初予算 … 2

予算審査特別委員会

… 4

3月定例会議案審議

… 8

ズバリ!町政を聞く【一般質問 8人】

… 11

平成28年第1回臨時会・平成28年第3回臨時会

… 19

他

平成28年度 予 算

一般会計予算

51億6千36万5千円

前年度比
10%減

総額

897億7千万円

平成28年度各種会計予算を可決

3月定例議会に平成28年度各種会計予算案が提案されたことを受け、議長を除く全議員で構成する『予算審査特別委員会』を設置し、3月8日から18日まで村田町一般会計、特別会計、企業会計あわせて8会計の予算審議を行った。

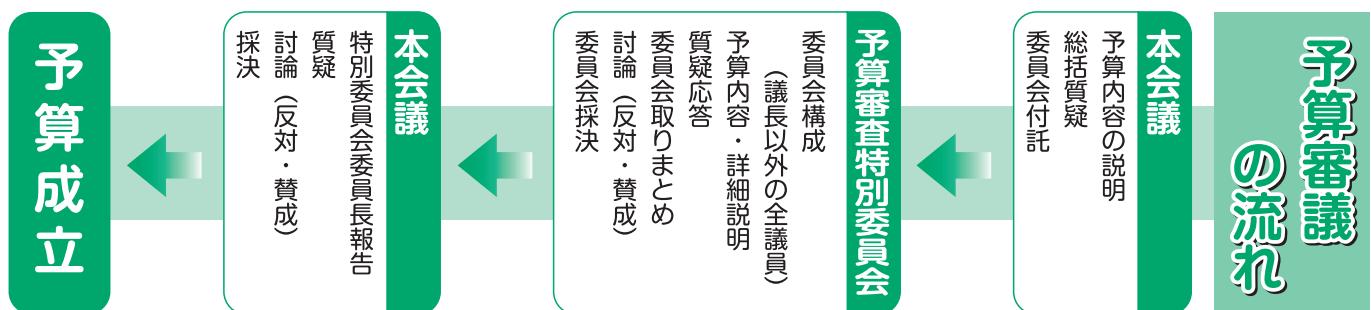
村上登予算審査特別委員会委員長から、8会計はいずれもこれを可決すべきものと決定した旨の報告を受け、その後採決を行った。

一般会計は、起立採決の結果賛成多数（賛成12人、反対1人）で可決された。また、その他の特別会計と企業会計は全会一致で可決された。

平成28年度会計別当初予算

(単位：千円・%)

会 計 名	平成28年度	平成27年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	5,160,365	5,736,675	△ 576,310	△ 10.0
特 別 会 計	國民健康保険事業	1,484,361	1,560,216	△ 75,855
	後期高齢者医療	124,362	123,166	1,196
	介護保険事業	1,147,126	1,194,358	△ 47,232
	公共下水道事業	402,165	410,682	△ 8,517
	農業集落排水事業	31,210	31,165	45
企 業 会 計	上水道事業			
	収益的収入	524,529	507,613	16,916
	収益的支出	456,083	472,833	△ 16,750
	資本的収入	4,473	4,891	△ 418
	資本的支出	156,831	162,545	△ 5,714
	工業用水道事業			
	収益的収入	9,182	9,200	△ 18
	収益的支出	7,963	8,621	△ 658
	資本的支出	0	0	0
合 計	8,970,466	9,700,261	△ 729,795	△ 7.5



「みんなで育てる自分たちのまち 村田」

平成28年度一般会計予算主要事業（単位：千円）



- 学校教育** 学び支援コーディネーター等配置事業(5,584)
特別支援教育支援員設置事業【幼・小・中】(14,928)
- 社会教育** むらたっこ応援団事業(678)
- 芸術文化** 伝統的建造物群保存地区保存事業(33,098)

まちごと元気な産業づくり



- 農業** 多面的機能支払事業(24,700)
新規就農総合支援事業(5,000)
農作物災害防除事業(6,770)
- 商工業** 商工会運営費補助事業(6,610)
建設業若年者人材育成事業(2,400)

自然豊かなまちづくり

- 環境保全** 太陽光発電システム補助(1,000)
塵芥処理 (仮称)仙南クリーンセンター負担金(118,110)

みんなで創るまちづくり

- 住民参加** 定住化促進事業(2,000)
定住促進住宅購入事業(9,450)
- 広報広聴** 広報むらた発行経費(2,325)

健康で共に支え合う福祉のまちづくり



- 医療** 各種検診及び健康増進事業(25,588)
不妊治療費助成事業(500)
- 福祉** 社会福祉協議会運営費補助(14,347)
- 子育て** すこやか出生祝金事業(15,200)
第3子以降保育料等助成事業(1,000)

安全・安心で快適に暮らせる生活基盤づくり



- 都市計画** 都市計画街路沿辺足立線改良工事(14,100)
道路交通網 簡易パーキング事業【町道迫線】(60,200)
市町村道整備事業【松山寺線】(75,100)
- 消防** 消防施設等整備事業(4,970)
自主防災組織設立推進事業(1,100)

町の財布の中身は？	自主財源	町税 1,340,180 千円 使用料・手数料等 299,092 千円 繰入金 328,147 千円 地方交付税 1,859,080 千円 交付金等 317,001 千円 国県支出金 726,265 千円 町債 290,600 千円
	依存財源	歳入の合計 5,160,365 千円

(単位：千円 ※他に予備費1,000千円)

一般会計予算	議会費 95,156	総務費 763,770	民生費 1,226,226	衛生費 740,266	労働費 18,491	農林水産業費 246,260
歳出内訳	商工費 81,556	土木費 450,782	消防費 198,603	教育費 571,362	災害復旧費 100	公債費 766,793

平成28年度各種会計予算

総括質疑

■ 太田 初美 議員



2016年度は、町の将来像を目指す総合的な指針となる、第4次長期総合計画の折り返しの年であり、なおかつ、地方創生総合戦略の元年である。総括的、大局的な観点から総括質疑を行う。

人口減少の現状を踏まえ、特定の分野や特定の施策を重点的に推進するとした「地方創生総合戦略」の実施計画が示された。施策の要点は何か。

人口減少の現状と将来展望を踏まえ「子育て・教育」環境の充実と仮称まちづくり会社を設立し「起業支援・観光・定住サポート」などを推進していく。

問

人口減少の現状を踏まえ、特定の分野や特定の施策を重点的に推進するとした「地方創生総合戦略」の実施計画が示された。施策の要点は何か。

答
人口減少の現状と将来展望を踏まえ「子育て・教育」環境の充実と仮称まちづくり会社を設立し「起業支援・観光・定住サポート」などを推進していく。

問
沼辺足立幹線の1期工事完了後の道路活用はどう検討するのか。

答
沼辺足立幹線の1期工事完了後の道路活用は、生活の利便性の向上に供するため、沿道利用や周辺開発も視野に整備計画の策定のための予備調査をおこなう。

2015年度補正分の加速化交付金と2016年度予算の新型交付金の交付額はどれぐらい見込んでいるか。

答
加速化交付金は1事業4千万円、新型交付金は1事業5千万円を見込んでいる。

問
高田関場線の先線の考え方と、関場線の整備はどう進めるのか。

答
先線については、県と対応を検討し施策決定を進め早期事業化へ向け鋭意取り組んでいく。

問
道の駅と簡易パークイングを往来する方策としているが、その仕様を伺う。

答
横断歩道橋の工事が予定された創出事業を進めるにあたり、庁舎内組織はどう検討するのか。

答
横断歩道の詳細は、橋長22・5m、歩道部幅員2m、鋼製橋脚・下路式鋼板桁橋構造で整備計画している。

問
高田関場線の先線の考え方と、関場線の整備はどう進めるのか。

答
先線については、県と対応を検討し施策決定を進め早期事業化へ向け鋭意取り組んでいく。

問
小規模保育事業の推進、幼稚園における預かり保育等の保育ニーズへの対応どう取り組むのか。

答
幼稚園における預かり保育等の保育ニーズへの対応と幼保連携型の児童福祉施設の整備、放課後児童学級の施設の有り方等について、どう取り組むのか。

答
小規模保育については、民間事業者が事業開始しやすい環境を整備していく。幼稚園の預かり保育、幼保連携型児童福祉施設の整備、児童学級施設等については、総合的な整備計画を平成28年度中に策定する。

平成28年度

予算審査特別委員会



審査結果を報告する吉野敏明特別委員長

平成28年度の各種会計予算審議にあたり、本会議から予算審査特別委員会に、その審査が付託されました。その後、委員長に吉野敏明議員を選出し、3月9日から17日までの9日間にわたり慎重に審議し、予算関連の現地調査も実施しました。

委員会採決の結果、いずれの予算も原案のとおり可決すべきものと決定されました。

この質疑応答は、予算審査特別委員会において平成28年度予算を決定することに当たり審議内容を抜粋したものであります。

この質疑応答は、予算審査特別委員会において平成28年

度予算を決定することに当た

り審議内容を抜粋したものであります。

この質疑応答は、予算審査特別委員会において平成28年

度予算を決定することに当た

たりの金額が増えることの可能性はある。

この質疑応答は、予算審査特別委員会において平成28年

度予算を決定することに当た

り審議内容を抜粋したものであります。

この質疑応答は、予算審査特別委員会において平成28年

度予算を決定することに当た

平成28年度

予算審査特別委員会

問

蔵の町の観光事業委託 料について、昨年は73万円予算計上したが平成28年度は計上されていない。その理由は。

答

作年度までは国の緊急雇用助成金を利用して運営していたが、平成28年度は国の緊急雇用の事業がなくなりたため町の単費で運営し、加速化交付金の事業を受けるために申請をしている。

問

農地費関連について、各地域が春と秋に農道補修等を実施しているが、この当初予算ですべて対応できるのか。

答

どうしても実施しなければならない事案が発生した場合、その都度、補正予算を計上し対応したい。

問

農地費関連について、各地域が春と秋に農道補修等を実施しているが、この当初予算ですべて対応できるのか。

答

作年度までは国の緊急雇用助成金を利用して運営していたが、平成28年度は計上されていない。その理由は。

問

イノシシ被害の対策について、地域で侵入防止

活動します。

答

青年就農給付金制度のその後について、制度が軌道に乗り機能しているか、またその実態等を把握しているか。

答

制度は機能しているものと認識している。町としても、それぞれの経営状況を確認し、事業者からも状況を報告いただく流れとなつている。

問

河川の維持管理について、昨年の大雨による災害復旧だけではなく、通常の維持管理のなかで堆積土砂の撤去が重要であると思うが、どのように考えているか。

答

堆積土砂の撤去については、大河原土木事務所に対し、常に要望を行っている。引き続き継続し、要望を行っていきたい。

問

河川の維持管理について、昨年の大雨による災害復旧だけではなく、通常の維持管理のなかで堆積土砂の撤去が重要であると思うが、どのように考えているか。

答

主に、遊休農地の解消へ向けた取組を中心に行なうとしているが、その業務内容は。

問

新年度からスタートする農地利用適正化推進員の業務内容は。

答

立し、その中で検討し必要と認められる部分について交付されるものもある。

問

柵を設置するとした場合、国や県の補助は望めないものか。

平成28年度 予算審査特別委員会意見

定例会の本議会において、予算審査特別委員長より町執行部に対して、次の委員会意見を提出しました。

- 学校跡地については、行政財産から普通財産へ速やかに変更し、積極的な財産の処分、活用等を行うなど具体的な施策を講ずること。
- 幼稚園・保育所・児童館等については、ソフト、ハード面から整備の検討を図り、特に保育所の待機児童については、その解消へ向け万全を期すこと。
- 農地集積事業については、特に受け手の確保や育成策に検討を加え、ほ場整備の促進・農業用施設の整備等を含め事業の推進をすること。
- 学校教育環境の検討にあたっては、広く住民の意見を集め、早期にその方向性を確定し教育環境の整備に向け万全を期すこと。

答

主に、各地区公民館に実施している行事、地区でのうなものに活用されているものか。

問

各地区公民館補助金について、具体的にどのようなものに活用されているものか。

答

今後さらにより給食を提供していく順調に運営が行われている。これまで大きな問題や課題もなく順調に運営が行われている。運営開始に至るまで、これまで問題点や課題はあったか。

答

準備等も順調に進み、これまで記載されていた村田第二小学校の大規模改修事業について、今年度からは削除されているが、この理由は何か。

問

運動会や夏祭りなどの事業に充てられている。

答

長期総合計画の実施計画において、これまで記載していた村田第二小学校の大規模改修事業について、今年度からは削除されているが、この理由は何か。

問

現在協議が進められており、学校検討委員会のなかで、その方向性の確認を得たうえで、再度現実的なものを実施計画に記載していくたいとの考え方から、手続き上、削除したものである。

答

長期総合計画の実施計画において、これまで記載されていた村田第二小学校の大規模改修事業について、今年度からは削除されているが、この理由は何か。

問

運動会や夏祭りなどの事業に充てられている。

平成28年度各種会計予算

討論

一般会計予算討論

【反対討論】高橋 勝 議員



2016年度から、交付税の在り方を歪める「トップランナーウェイ」が歳入・歳出とともに導入される。「行革」等で経費が抑えられた自治体の水準を基準として交付税を算定するもので、地方交付税本来の趣旨に反するものである。平成28年度一般会計当初予算で交付税は減額、対前年度比で5億7631万円減、率で10・04%減の51億6千36万5千円となつた。新年度事業計画予算措置すべてに反対するものではないが、今後、道の駅駐車場拡張、福祉施設の完成、姥ヶ懐・岩沼線30年開通予定等、人の交流が増えていくことが予想される。これらの条件を最大限に生かしながらの交流が増えていくことが予想される。これ

議案第24号、平成28年度、村田町一般会計予算案に対し、私は賛成の立場から賛成討論を行う。

本町の新年度一般会計当初予算案は、51億6千36万5千円と対前年比で5億7千630万円の減、率で10・04%減の予算規模となつた。歳入面では、地方交付税や

がら、若干層を含めて流出傾向を止めるのであれば、村田町に永住してもらうための施策として保育所の待機児童解消の増設等の計画とか、第四・第五小学校跡地利用等・第二小学校改修工事に予算措置をするとか、町民に希望を与える施策・方針が見えてこないことから、議案第24号平成28年度一般会計予算案に反対す

国県支出金が大幅な減となつた。

一方、歳出面では、社会保障関連経費の増と、子育て支援等の扶助費の増加に加え、企業団や一部事務組合の負担金増などに伴い、基金からの取り崩しの他、起債などによる財源確保の対応等で、依然として厳しい財政状況下にある。

今年度は、町の将来像を目指す総合的な指針となる、第4次長期総合計画の折り返しの年度で、なおかつ、人口減少の課題を始め、子育て支援の充実や雇用創出等の環境の整備を推し進め、地域産業基盤の強化策を図るために地域の実情を踏まえた、村田町地方創生総合戦略の取り組みがスタートする。

特に、町づくり会社を核とした「仕事・交流」創出事業は、起業支援関係、移住・定住サポート関係、観光関係、農業関係の4部門に、国の加速化交付金や新型交付金を活用して、地方創生の取り組みを進めて行くとしている。

また、学校教育の充実を図るため、学校教育指導員を配置したり、深刻化する農作物へのイノシシ被害に対処するため、鳥獣被害対策実施隊を設置し被害防止に取り組むほか、農業関係の4部門に、国の加速化交付金や新型交付金を活用して、地方創生の取り組みを進めて行くとしている。

新規事業、継続事業などが盛り込まれ歳入に見合つた歳出の事業が効果的に配分され、重点を置いた、新年度一般会計予算案と判断する。

従つて、予算審査特別委員会において、担当課長の説明を受け、詳細にわたる質疑等を行い、各施策に対する予算配分について理解をした。

各種会計予算審査、特別委員会において、担当課長の説明を受け、詳細にわたる質疑等を行い、各施策に対する予算配分について理解をした。

会委員長報告のとおり、議案第24号、平成28年度村田町一般会計予算案に賛成する。

【賛成討論】太田 初美 議員



意見が分かれた議案の賛否一覧

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決結果 (賛成:反対)
議案	菊地 睦夫	大沼 吉隆	鈴木 博実	遠藤 勝	高橋 敬子	大内 元道	渡辺 登	村上 正隆	佐藤 洋治	吉野 敏明	斎藤万之丞	太田 初美	大沼 克巳	議	可決 (12:1)
議案第24号 平成28年度 村田町一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決 (12:1)

*表決の区分 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 議:議長は採決に加わらない

こんなことが決定されました。

■村田町農業委員会委員の任命について

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会委員の選任について議会の同意を得るもの。

(同意第2号)

住 所 村田町大字村田
氏 名 南部 仁

(同意第3号)

住 所 村田町大字村田
氏 名 山家 文雄

(同意第5号)

住 所 村田町大字沼辺
氏 名 櫻井 とし子

(同意第6号)

住 所 村田町大字薄木
氏 名 大沼 善明

(同意第7号)

住 所 村田町大字菅生
氏 名 小山 昭一

(同意第9号)

住 所 村田町大字小泉
氏 名 渡邊 長松

(同意第8号)

住 所 村田町大字足立
氏 名 丹野 敬吉

(同意第4号)

住 所 村田町大字幸子
氏 名 前野 幸子

平成27年度一般会計予算 最終繰越明許費内訳

(単位:千円)

款・項	事業の内容	繰 越 額
2. 総務費		
1. 総務管理費	情報セキュリティー強化対策事業	20,520
3. 民生費		
1. 社会福祉費	福祉施設外構整備事業	29,000
7. 商工費		
1. 商工費	しごと・交流創出事業	45,600
8. 土木費		
2. 道路橋りょう費	道路維持事業 道路新設改良事業 市町村道整備事業 堆積土砂除去事業	8,814 26,523 129,060 3,000
3. 河川総務費		
11. 災害復旧費		
1. 公共土木施設災害復旧費	単独災害復旧事業 補助災害復旧事業	19,200 175,007
2. 公共農林施設災害復旧費	補助災害復旧事業	84,000

報 告

■損害額を定め和解することについての専決処分の報告について
【全会一致・適任】
■平成28年度一般財団法人村田ふるさとリフレッシュセンター事業計画について
【全会一致・適任】
■公的施設の管理運営を行うとともに、観光客へのサービス向上のための事業、地場産業の活性化に資する事業地産を行い、もつて、地域社会の発展と潤いのある町民生活の振興を図るとともに、地域社会の活性化に資する事業地産を行っていきます。
形成していく。

■人権擁護委員候補者の推薦について(諮詢第1号)
任期満了に伴い、推薦するもの。
【全会一致・同意】

■村田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、関係条文を改正するもの。

【討論なし・原案可決】

追 加 議 案

■村田町農業委員会委員の任命について
農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会委員の選任について議会の同意を得るもの。

ズバリ 町政を問う

一般質問



子育て支援策の実施について ジェイデバイス工場再編対策について

渡辺元道議員

質問1・子育て支援策の実施について

人口減少を抑制するため、町では地方創生総合戦略を策定し、本年度から具体的な施策を実施することになりました。

若い世代は、現状よりも更に安心して子育てができる環境を希望しています。

そこで、現状に対する改善策をうかがいます。

質問①保育所の待機児童ゼロを目指した取り組みについて

保育所の施設や人員の充実を図り、今年度より待機児童をゼロにしていただきたい。

町長答弁

具体的な検討を行っているところです。

答弁① 待機児童対策の緊急措置として、現施設の拡張や保育士の増員を行っているところです。

質問② 児童館の施設は現状のままでよいのか

放課後の児童を預かる

児童館は、村田児童館が町民体育館の一室を、沼辺児童館は村田第二小学校の体育館の一室を使用している。特に沼辺児童

館は狭く児童に不便を強いている状況であり、改善の意思はあるのか。

答弁② 村田及び沼辺児童学級についても、児童福祉施設整備の検討の中で計画することとしています。

質問③ 通学路の安全対策の充実について

小学生・中学生の通学

路である県道に歩道が無く危険な箇所があります。

沼辺字寄井地区は、歩行者のすぐ脇を自動車が通るので、車にあおられた

りします。歩いているのは、側溝の蓋の上ですが、

震災以降傾いているところもあり、歩き難い状況



歩道のない危険な通学路

大河原川崎線の村田第二小学校から旧JAガソリンスタンド間につきましては、朝晩の通勤時間帯において、多くの車両が行き交うため歩行者の安全確保の必要性を痛感しています。町としては、この歩道未整備区間の改

良を推し進めるべく、宮城県知事及び大河原土木事務所に対し、要望しているところですが、今後、一刻も早い改良となるよう、強く要望してまいります。

答弁③ 主要地方道亘理

質問2・株ジェイデバイス宮城工場の再編による対策について

本件につきましては、従業員519名の内、県内に住所を有する430名が顧用継続となると、

家族を含めて移管先の北海道や福岡県に転出することとなり、大幅な人口減少並びに地域経済への影響が懸念されます。また、家庭の事情から、どうしても転勤に応じられない従業員が出ることも予想されますので、ハローワーク、そして宮城県と連携し速やかに顧用対策を講じることとしてい

ます。

の株ジェイデバイスから宮城工場の再編計画が公示され、今後、村田町の工場は結果として閉鎖される方針が示されました。従業員の顧用を守り生活を確保することが何よりも大切であると考えます。

1月22日に半導体製造

ズバリ町政を問う

一般質問



子育て・子ども医療費・保育について

高橋 勝 議員

質問1 保育所の待機児童解消について

毎年「ゼロ歳～2歳未満児」は待機児童4～10名と慢性化している。この問題は、行政が責任を持つて解決しなければならない。

保育所の待機児童解消策については、施設の増設等を含め、町としてどのように考えているのか。

町長答弁 保育所、児童学級などの児童福祉施設整備について具体的な検討に着手する。保育所における待機児童対策の緊急措置として、現施設の拡張や保育士の増員について、具体的な検討を行っている。

生先行型交付金」を活用して子ども医療費助成の範囲を拡充した場合について

質問3 更なる保育料負担軽減を

現在、全国的統計で子どもの6人に1人は貧困と言られている。本町のは行わないことを全国の自治体に通知した。

本町における現在の子ども医療費助成制度は、所得制限を設けている。所得制限を設けていた場合、予算措置はどのくらいになるのか。

今後更なる保育料負担軽減について、検討していくものなのか。

町長答弁 国では幼児教育の段階的無償化に向けて、年収360万円未満相当の世帯について従来の多子軽減における年齢の上限を撤廃するとともに、年収360万円未満のひとり親世帯等については、負担軽減措置を拡大し、第1子については現行の半額、第2子については無償化の取り組みを進めており、子ども・子育て支援法施行令等の改正の準備を行っている。

子育て支援課長答弁

基本的には、正職員として採用していくことを検討していく。

象にならない方約1割で、予算措置については365万円程度が必要になる。

質問2 子ども医療費助成制度・所得制限撤廃すべきでは

本町の医療費助成については、ゼロ歳から15歳まで入院・通院とも助成している。国は「地方創

第3子以降の保育料等の助成事業も今後も継続し、保護者の経済的負担の軽減に努めていく。

追質問 保育士の待遇改善について

保育士の待遇改善については、臨時職員ではなく正職員として採用すべきでは。



村田保育所

ズバリ町政を問う

一般質問



「村田町地方創生総合戦略」 子育て教育環境づくりは 「防災・減災対策」の取り組みは

遠藤 実議員

保育所の拡張・保育士の増員、具体的な検討を行っている。

平成28年度に保育所・児童学級など児童福祉施設の整備について、具体的な検討に着手する。保育所の待機児童対策の緊急措置として現有施設の拡張や保育士の増員については、具体的な検討を行っている。

産業構造や個々の生活の価値観、ライフスタイルの変化によって、保護者の就労のあり方や核家族化など生活形態も多様化の傾向にある。仕事と子育てを両立させるため、保育所に入所を希望する方も多い状況にある。待機児童数が、平成31年度には解消されると理解するが、待機児童解消の具体的な計画と手立ては?

町長答弁

保育所の拡張・保育士の増員、具体的な検討を行っている。



村田保育所の園庭

質問1 「村田町地方創生総合戦略」子育て教育環境づくりは

追質問 緊急措置の具体的な検討の内容は何か

子育て支援課長答弁

現保育所の園庭に増築できないか・方法や規模等の検討を進めており、待機児童の解消を図つていく。

質問2 「防災・減災対策」の取り組みは

一、地球温暖化の進行に伴い、突然の豪雨や洪水の増加を危惧している。洪水被害の軽減を図るため、河川特性を活かした維持管理計画の作成が急務であり宮城県管理の荒川・新川・坪沼川の維持管理計画を早期に策定されるよう要望する必要がある。

二、昨年町内で発生した道路・河川・農業施設等の災害復旧工事の進捗状況はどのようになっているのか

三、土砂崩れや地滑りの恐れがある箇所の、新たに土砂災害警戒区域の指定に向けた働きかけや取り組みは

町長答弁

一、県管理河川（荒川・新川・坪沼川）の維持管理計画策定について、宮城県大河原土木事務所へ引きき要望を行う。

三、北塙内地区の指定を行ったため、基礎調査結果の説明会が開催された。町内の基礎調査予定箇所は、63箇所となつており、土砂災害警戒区域の指定を早急にされるよう要望していく。



取水施設の被災状況

二、災害復旧工事について、平成28年2月19日25件全ての入札を実施したが17件が入札不調となり、再度の入札においても5件が不調となつたが、受注していただけるよう内容の検討を行つてている。

ズバリ町政を問う

一般質問



菅生スマートIC構想実現に向けて 28年度水田農業対策関連について

大沼吉隆議員

質問1

菅生スマートIC構想実現について伺う。

本年2月2日の河北新報に「菅生にスマートIC構想・村田町、県に協力要請へ」、同3日「知事表明・県が接続道路整備」の記事が掲載され、多くの町民の方々がこの報道を歓迎しているものと理解し、町長の設置に向けた熱意と行動を評価するものです。そこで、実現に向けた町長の決意と所信、県の支援策の内容について町長に問う。

町長答弁

菅生スマートICの設置は、県道岩沼蔵王線（仮称）姥ヶ壠トンネルと共に新たな交通ネットワークが整備されることになり、スポーツランド菅生でのイベント時の渋滞緩和と安全性の向上、新たな観光周遊ルートの形成、仙台空港へのアクセス性の向上など、宮城県南部



東北自動車道菅生パーキングエリア付近

地域はもとより、山形、福島両県を含めた広域的な物流、インバウンド並びに新たな地域発展が期待される。また、スマートインターのゲートから県道仙台村田線までの接続については、県において整備されるものである。

へと進んでいく。設置自治体としては、仙台市と連携を図りながら太白区

坪沼並びに菅生地区の活性化に繋がる事業について検討を加え、本町としての地域経済・観光の活性化を加速していく考え方である。

そのためには基盤整備も含め、何をすべきか等の議論と戦略等を立て、農地フル活用を目指していく。

すべきと考える。

当町に即した「明日の村田町の農業が進むべき道筋」を打ち出せる全体会議の構築から取り組む。その中で将来とも需要が見込め、農業所得を向上させる作物は何なのか、

質問2
28年度水田農業対策推進関連について町長に伺う。

地域農業を支える担い手の育成に向け、行政と農業団体・認定農業者の戦略的な会議体の設置と、農業所得向上に向けた圃場整備と畑作振興が重要であり、早急な圃場整備地区の選定を行い、地域内の合意形成を進めるべきと思うが町長の答弁を求める。

質問3

イノシシ被害対策について、一市町でなく近隣市町との連携が効率的で効果が上がると思うが町長にうかがう。

町長答弁

産業としての農業を確立するため、専業農家と組織され「実施計画書の策定等」がなされ事業化

現在は、各市町ごとの捕獲体制、捕獲期間となつてているのが現状である。広域的な捕獲体制については、宮城県、近隣市町、宮城県獣友会の動向を踏まえて検討をしていきた

ズバリ 町政を問う

一般質問



1.町道中山線改良工事計画について 2.新舟渡排水機場周辺の改修と ポンプの取り換えについて

鈴木保博議員

1. 町道中山線改良工事 計画について

ていきたい。

質問 町道中山線は平成14年から17年まで改良工事が実施され、元関場鹿

野線から中山入口のカーブまで改良工事が完了して、町民は喜んでいるところである。

しかし、運送会社から
中山入口のカーブまでの
約140mの区間で道路
が狭隘なため、相互交通
をしている状況にあり地
域住民に不便をきたして
いる。この区間ににおける
利便性向上を図るため、今
後改修計画があるものか
うかがう。

町長答弁 現在残つてゐる区間は、既存住宅等の移転等を伴うほか、県道亘理大河原川崎線との接続に関する交差点協議において、大河原警察署から指導を受けている。

2. 新舟渡排水機場周辺の改修とポンプの取り換えについて

質問 現在の排水機場は、
東日本大震災以前より、

入口の階段と建屋の段差が40cm以上もあり、裏の階段についてもまた同様であり、特に夜間作業時

においては、安全確保の観点からも危険であると感じる。

また、施設稼働から28年以上も経過し、近年はゲリラ豪雨の発生も頻発することとから、排水作業に時間を要し、支障をきたす状況となっている。このことから排水機場周辺の改修計画についてうかがう。

町長答弁 宮城県農業農村整備事業管理計画において、施設の長寿命化計画を南田排水機場と併せて検討している。

改修事業の中で、既設ポンプの排水能力を検証し、

ポンプの改修、交換に取り組んでいきたい。また、機器の保守的整備について

ても、これまで実施して
きたが、今般の補正予算
で隨時、機能維持に努め
ていきたい。

追質問 夜間作業時の安全確保はできているのか。

農林課長答弁 照明の整備、救命胴衣、ヘルメット等を備え付けている。



改修が待たれる新舟渡排水機場

ズバリ 町政を問う

一般質問



- 1.東日本大震災における救援物資等について
- 2.ふるさと納税について
- 3.町民の命を守るAED(自動体外式除細動器)の設置について

菊地睦夫議員

質問
1

5年前の3・11東日本大震災の折に、兵庫県多可町の皆様より真心の救援物資を多数、お届けいただいたと 思いますが、救援物資の内容とそれが本町の約何人の方々に届けられたかががります。また、兵庫県多可町の皆様へ震災時に支援いただいたことに対し、本町としてどのような御礼と感謝の思いを形として伝えたものなののかがい います。

町長答弁

いただいた救援物資は衣類、寝具用品、衛生用品、食料品、日用品、雑貨類等々です。3月14日から19日にかけて6回送つていただきました。指定避難所へ避難をした方々、介護を必要とされる方や乳幼児等の災害時要配慮者の方々、村田保育所に3月中に配布をし5月と10月に全壊・半壊によりご自宅で生活するこ

皆様へ震災時に支援いた
だいたことに対し、本町
としてどのような御礼と
感謝の思いを形として伝
えたものなのかうかがい
います。

大震災の折に、兵庫県多可町の皆様より真心の救援物資を多数、お届けいたしましたが、救援物資の内容とそれが本町の約何の方々に届けられたかうかがいます。

とが困難となつた方や、福島原発事故により福島県より町内の公営住宅等に避難された方々にも物資の中で必要なものを自分で選んでいただきお配りしました。以上のことから、具体的的人数の把握は困難でした。多可町よりお送り頂いた物資は多可町のご了解を得て、津波被害のあつた市町に連絡をし、石巻市、亘理町、山元町へ衣類、寝具用品、衛生用品、食料品、日用雑貨品等を数回に分けてお送りした次第です。なお平成24年10月1日に私と議会議長とで多可町を訪問し村田町を代表をして御札を申し上げて参りました。多可町長からは、被災地の一日も早い復興を祈念する思いが寄せられており、村田町として、宮城の復興を推し進めることがご質問の多可町に対する御札と感謝の思いであると思つております。

質問2 ふるさと納税は、本町においては、具体的にどのくらいの件数と金額になつてあるか伺います。

近隣の市町村との特産品、観光等を抱き合わせた共存共栄のふるさと納税の返礼品として、本町の追加品目に加える考えはないかうかがいます。

町長答弁

本年度におきましては、昨年6月から、返礼品の特典を拡充し、本年2月末現在646件で1千33万4千円の寄付額となっています。

返礼品は本町の特産物等です。近隣市町との連携による返礼品については、ふるさと納税の仕組みとしては馴染まないものと思いますが、ご案内の近隣市町との特産品や観光等を抱き合せた連携エリアにおける地域振興や定住の受け皿の形成にもなり仙南地域における今後の地方創生の取り

組みの一つとして検討して参りたいと思います。

質問2

施設において検討しておきます。

ズバリ町政を問う

一般質問



子育てしやすい環境と少子化対策、若者の定住について

大内敬子議員

質問 地方創生総合戦略「どもたちの声ひびき、元気な笑顔が集うまち」実現のためには、子育て環境を整えることが大事であり、特に幼稚園や保育所の充実を図ることは重要である。

待機児童の対策として施設拡張の検討など、その手立てを考えているか。また保育士の労働環境、正職員と臨時職員の割合をうかがう。

町長答弁 保育所の待機児童対策の緊急措置として、現施設の拡張や保育士の増員について具体的に検討を行っている。村田保育所の保育士については、園長を含め14名、うち臨時職員は6名である。開園時間が長時間のため、一人勤務時間を8時間とし、勤務形態を3通りとして、規則に則った勤務時間を確保している。

地方創生総合戦略「どもたちの声ひびき、元気な笑顔が集うまち」実現のためには、子育て環境を整えることが大事であり、特に幼稚園や保育所の充実を図ることは重要である。

質問

今定例会で町長は村田町すこやか出生祝金支給条例の制定について提案されたが、第1子で20万円、第2子で10万円の支給金額設定についての考え方や根拠についてうかがう。

質問 本町における合計特殊出生率、いわゆる一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す値が2011年4年で1・42人となつており、晩婚化、晚産化が出生率低下傾向にあると思慮され、まずは結婚していくいただき、第1子を産んでいただくことから始まるとの観点から支給することにしたものです。

町長答弁 「定住促進住宅」により、子育て世代中心の本町居住促進を図る。また「村田町定住促進事業補助金」制度、空き家バンクの登録などを促進し、都市住民との交流拡大及び定住促進を進める。

産業創出では、東京の若者層が関心を持つような条件整備と起業支援を推進し、魅力ある創業の機会を生み出すことで、若者の定住化を進めたい。

質問 策と併せ、若者の定住定着の具体的施策について、今後どのように考えていくものかうかがう。

町長答弁

「定住促進住宅」にはり、子育て世代中心の本町居住促進を図る。また「村田町定住促進事業補助金」制度、空き家バンクの登録などを促進し、都市住民との交流拡大及び定住促進を進める。

産業創出では、東京の若者層が関心を持つような条件整備と起業支援を推進し、魅力ある創業の機会を生み出すことで、若者の定住化を進めたい。

質問 すこやか出生祝金について、第一子のみ優遇されている。子供を多く生んでいただいた方には感謝の念も込めて第一子で20万円、第二子で30万円といつた累進制にしてはいかがか。

町長答弁

すこやか出生祝金について、第一子のみ優遇されている。子供を多く生んでいただいた方には感謝の念も込めて第一子で20万円、第二子で30万円といつた累進制にしてはいかがか。

質問 出産へと導き、合計特殊出生率の引き上げを図ることからこの金額を設定した。

今回のような少子化対策

町に一番必要なのは人口増である。人口を流出させない、人口流入を求めるため、若者に村田町は子育てに適した町であると認識してもらうことが必要である。定住促進住宅に新婚の夫婦も入居

町長 町民の声を聴きながら、分析したうえで柔軟に対応していきたい。

ズバリ 町政を問う

一般質問



100年の町造りこそ地方創生

主要幹線道路の整備とよみがえる「自治の交通緑園都市

佐藤正隆議員

問一 主要地方道岩沼戻
王線・姥ヶ懐トンネルの開削、東北道・菅生PAに開かれるスマートインター。この二件はこの時代の貴重な贈り物で町はそれにしなければなりません。

懸案の町道高田関場線。

真っ直ぐ南進して国道4

同様に岩沼蔵王線や菅生線・川崎線からの流入・通過車両をさばく迂回路としての都市計画街路沼辺足立幹線の開通・改善はともに地方創生を推進する大きな力になります。

そこまでのしつかりした見通しを持つてはじめて百年の町造り・定住化推進策だと思うのですがいかがですか。

本町の道路網は高速道と繋ぐ県道が未熟で、交通障害や慢性的な交通渋滞

問一 主要地方道岩沼蔵王線・姥ヶ懐トンネルの

滞など日常的な支障となつています。

煮詰めます。

それを生かせないでいる
からです。

県道に替わるバイパスとして高田関場線の改良に着手して来て早期に四号線に接続して地域の活性化と利便性の向上を図

りたいのですが、様々な事情に翻弄されて来ました。ご指摘の二線を大動

後は事務手続き上の公会・都市計画上の縦覧と、県との協議を進めます。

問三・追質
この十年來、
指摘してきた諸点（自治
の樹立・竹の内問題の解

町長答弁三
自分の頭で考え、自分の声で答え、オール村田、みんなで考える町政を目指してきました。今後もその考えに変わりありません。

問二 これから的地方創
生・再開発に逆行するよ
うな竹の内産廃の後始末
工や柴田斎苑建て替え工

について

町はいわれのない直接の被害と迷惑施設の受け

取り手として、町長自身の声で町民に丁寧に説明をして理解を求めるべきです。それが就任十年目の町長の大きな役目です。

町長答弁

竹の内産廃問題では六
月の評価委員会に向けて
地元の四者協議で骨子を



竹の内地区いつもの冠水

平成28年

第1回 臨時会 (2月4日)

第3回 臨時会 (3月29日)

平成28年 第1回 臨時会

■議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一
部を改正する条例
個人番号の利用の取扱いにつ
いて一部見直しにより、条例の
整備を図るもの。
人事院勧告に伴い、議会議
員報酬についてもこれに準じ
た所要の改正を行うもの。

【討論なし・原案可決】

■専決処分 村田町町税条例
等の一部を改正する条例の一
部を改正する条例
地方税分野の手続における

【討論なし・原案承認】

条 例



■旧教育委員会教育長の給与
及び勤務時間その他の勤務条
件に関する条例の一部を改正
する条例
人事院勧告に伴い、教育長
についてもこれに準じた所要
の改正を行うもの。

【討論なし・原案可決】

■特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する条例
の一部を改正する条例
人事院勧告に伴い、町長及
び副町長についてもこれに準
じた所要の改正を行うもの。

【討論なし・原案可決】

収益的支出に33万円を追加
職員の給与条例改正に伴う
人件費等の経費を措置するた
め補正するもの。

【討論なし・原案可決】

工事請負契約

■工事請負変更契約の締結に
ついて
平成27年度村田町福祉施設
等工事 施工場所 村田町大字村田地
内

施工場所 村田町大字村田地
内
変更事項 (契約金額)
原契約金額 2億1千399万1千2百円
変更契約金額 2億1千674万5千2百円
変更による増額 275万4千円

代表取締役 今野 幸衛
株式会社今野建設
【討論なし・原案可決】

平成28年 第3回 臨時会

■平成27年度村田町上水道事
業会計補正予算(第4号)

■平成27年度村田町一般会計
補正予算(第6号)
3千493万4千円を追加
主に職員の給与条例改正に
伴う人件費等の経費のほか、
一般会計予算執行にあたり緊
急に必要となる経費を措置す
るため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

■平成27年度村田町一般会計
補正予算(第8号)
4千560万円を増額
国の平成27年度補正予算に
伴う地方創生加速化交付金事
業に係る予算を措置するため、
歳入歳出予算の総額にそれぞれ
4千560万円を増額し、
歳入歳出予算の総額を歳入歳
出それぞれ63億4千263万
6千円に補正するもの。

【討論なし・原案可決】

補 正 予 算



村田町議会改革調査 特別委員会経過報告



平成27年12月定例会で設置されました、村田町議会改革調査特別委員会が閉会中に開催されております。

特別委員会は、平成29年12月定例会終了までを調査期間とし、将来に向けた議会のあり方について、議会運営や議員報酬・定数等の議会改革について協議していくものです。

協議している内容等は「村田町議会だより」において、「随时、皆様にお知らせしています。」

第3回 開催 議会改革調査特別委員会

N・その他
（審議事項）

特別委員会研修について
（委員会決定）

平成28年6月定例会終了後
実施予定

日 時 1月22日（金）
場 所 議員控室

（審議事項）
①議会基本条例に関する項目

I・通年議会について
（委員会決定）

通年議会は採用しないものとする。

用語解説

・通年議会とは？

議会の会期を1年とし、その間は議会の判断で必要に応じて会議を開けるようにする制度です。

第4回 開催 議会改革調査特別委員会

日 時 2月23日（火）
場 所 議員控室

（審議事項）
II・会派制について

（委員会決定）

会派制については、今後協議する、定数・報酬の内容決定後に再度審議するものとす

・会派とは？

一般的に政策や目的を共有する議員が集まる集団を指しますが、地方議会においては、専ら会派の大小により、一般質問の時間や委員会所属の決議に影響することがあり、会派に所属していない議員の活動や発言は相当制限され、いわれています。

（審議事項）
III・政務活動費について
（委員会決定）

政務活動費は、今後協議する、定数・報酬の内容決定後に再度審議するものとする。

・政務活動費とは？

議員が政策調査研究等の活動のために、議員報酬とは別に公費で賄われる活動費用の

ことです。
議員活動がより活発になる効果が期待されている一方で、その使途については、報道でも見かけるように、政治家の不正使用の例が多く、政務活動費の本質が問われています。

常任委員會

う ふ[。]ー ト

行財政運営について

總務・民生常任委員会

○調査結果

1. **歳入**　自主財源の要である町税は、長年の課題であつた滞納整理のノウハウが浸透し、収納率の向上が図られた。なお、平成26年度決算における徴収率は96%となっており、また、各種使用料についても収納対策に万全を図り、自主財源確保に力を注がれた。

2. **歳出**　人件費の削減や補助金等の見直し、公営企業会計に対する繰入金抑制等により、歳出削減に努めている。地方債残高は確実に減少傾向を示しているものの、償還が財政の硬直化を招いており、来年度以降も厳しい状況が見込まれる。今後も一部事務組合の負担金や人口減少対策事業の実施、扶助費等の増が見込まれることから、徹底した歳出削減を行い、財源の確保に努めなければならない。

○委員会所見

1. **歳入**　自主財源の要である町税は、長年の課題であつた滞納整理のノウハウが浸透し、収納率の向上が図られた。なお、平成26年度決算における徴収率は96%となっており、また、各種使用料についても収納対策に万全を図り、自主財源確保に力が注がれた。

2. **歳出**　人件費の削減や補助金等の見直し、公営企業会計に対する繰入金抑制等により、歳出削減に努めている。地方債残高は確実に減少傾向を示しているものの、償還が財政の硬直化を招いており、来年度以降も厳しい状況が見込まれる。今後も一部事務組合の負担金や人口減少対策事業の実施、扶助費等の増が見込まれることから、徹底した歳出削減を行い、財源の確保に努めなければならない。

産業建設教育常任委員会

○調査結果

農林水産分野における TPP関連情報について

○委員会所目

面積
A = 24.4 ha
(3工区)

2. 麦、小麦は現行制度を維持

1. 攻めの農林水産業への連
2. 経営安定・安定供給のための備え（重要品目開転換）

3. 牛肉関税撤廃を回避、
4. 乳製品、脱脂粉乳、バ
ターは現行制度を維持
農林水産分野における

米と牛肉生産への影響が懸念される状況にある。また、農業従事者の高齢化や離農者の増加に伴う、農業生産力の低下と耕作放棄地の増加傾向が今後とも続くものと予想される現状にある。

3. 対策の進め方 4. 対策の効果検証・検討 の継続

圃場整備状況 村田町の水田整備状況（参）

卷八

a 区画以上の整備率は2%

れ、各種関連団体との意圖交換を通じて、行政・農業団体・担い手が連携し先頭に立って取り組む必要を田慮するところである。

宮城県全体での整備率は68%（27%）となつております。村田町の圃場整備は下位に位置する。

位置する。

現存於行口の鉄生前坡田の概要

議会日誌

- 2/3 仙南・亘理地方町村議会議員合同研修会(柴田町)
2/4 第1回村田町議会臨時会
2/5 宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会(仙台市)
2/12 村田小学校第6学年議会体験
2/16 宮城県議長会定期総会(仙台市)
仙南地方町村議會議長会議長会議(蔵王町)
2/17 仙南広域行政事務組合議会運営委員会・全員協議会・予算説明会(大河原町)
2/22 みやぎ県南中核病院企業団議会運営委員会・全員協議会(大河原町)
2/23 村田町議会改革調査特別委員会
2/25 みやぎ県南中核病院企業団議会定例会(大河原町)
2/26 仙南広域行政事務組合議会定例会(大河原町)
3/3 議会運営委員会
全員協議会
3/8 議会運営委員会
第2回村田町議会定例会本会議(1日目)
3/9 第2回村田町議会定例会本会議(2日目)
予算審査特別委員会(1日目)
3/10 予算審査特別委員会(2日目)
総務民生常任委員会
産業建設教育常任委員会
3/11 予算審査特別委員会(3日目)
3/14 予算審査特別委員会(4日目)
3/15 予算審査特別委員会(5日目)
議会運営委員会
3/16 予算審査特別委員会(6日目)
3/17 第2回村田町議会定例会本会議(3日目)
3/18 第2回村田町議会定例会本会議(4日目)
3/29 全員協議会
第3回村田町議会臨時会
4/8 議会広報編集審査特別委員会
4/12 仙南地方町村議會議長・事務局長会議(大河原町)
4/15 議会広報編集審査特別委員会
4/21 議会広報編集審査特別委員会
4/26 総務民生常任委員会
4/27 産業建設教育常任委員会
4/28 村田町議会改革調査特別委員会



村田小学校第6学年 議会体験：2月12日



村田町地域福祉センター落成式：3月30日

次の定例会は 6月14日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<http://www.town.murata.miagi.jp/>
コンテンツ「議会」から「議会中継」へアクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの
「本会議開催予定表」お知らせしています。

議会を傍聴しませんか [定員22人]

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

議会事務局職員の異動がありました

4月1日付けで職員の異動がありました。
今後ともよろしくお願ひいたします。

前局長 渡辺明夫
(企画財政課長)

新局長 田山芳明
(子育て支援課長)

編集後記

■ 桜花爛漫の時
節となり、私たち議員も昨年の
8月の当選証書付与式より早8
か月となりました。

■ 議員の職責の中に「選良」とあります。住民の代表であり人格、識見とも優れ議員の一言一句は取りも直さず住民の意見であり声であり、住民全体の代表者であり奉仕者である。これが議員の本質であります。

■ 自分で決めた議員の道があり、今いる地域で自分らしく戦い切り、努力と結果を残していくことが大事であると実感する」の頃です。改めて襟を正して町民の皆様のために、いきいき町創りに頑張ります。

発行・編集責任者

議長 大沼 克巳

議会広報編集審査
特別委員会

委員長 高橋 勝

委員長 佐藤 正隆

委員員長 菊地 瞳夫

委員員長 大沼 吉隆

委員員長 鈴木 保博

委員員長 大内 敬子

議会広報編集審査特別委員会

委員 菊地 瞳夫